

第 16 卷 PDF 読本



関西本線（名古屋～難波）

奈良線（奈良～京都）

2024年5月30日 歩く鉄道作家 檜原 勉

<目次>

はじめに

第1章 関西本線（名古屋～亀山：営業キロ 59.9 km）・・・5

第2章 関西本線（亀山～柘植：営業キロ 20.0km）・・・26

第3章 関西本線（柘植～奈良：営業キロ 54.0km）・・・49

第4章 奈良線（奈良～京都：営業キロ 41.7 km）・・・70

第5章 関西本線（奈良～難波：営業キロ 41.0km）・・・95

※1. 関西本線（名古屋～難波：営業キロ 174.9 km）

※2. 関西本線＋奈良線：営業キロ 216.6 km

はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第 11 弾目として、名古屋圏・関西圏に接続する、愛知県・三重県・京都府・奈良県・大阪府を走る、関西本線・奈良線の旅（営業キロ 216.6 km）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある榎原勉文庫で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 25 作目の節目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

<ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅“PDF 読本シリーズ中、第1巻（第3編、第4編）として国立国会図書館に納本済みのため、本図書館や樫原勉文庫にて、次のPDF 読本からダイジェスト版でもご閲覧頂けます。

第3編（日本横断歩き鉄の旅）

関西本線



伊賀上野城

2020年12月1日 樫原 勉

第4編（日本横断歩き鉄の旅）

草津線・奈良線・大阪環状線



平等院鳳凰堂

2020年11月13日 樫原 勉

第1章 関西本線（名古屋～桑名）

第1節 旅プラン

第345～347回目のウォーキングは、青春18きっぷを活用し、名古屋から松坂までのJR線を歩くことにする。平成25年3月9日（土）～11日（月）のコースは次の通り。

<一日目：2013年3月9日（土）>

紀勢本線（亀山＝津：15.9 km）踏破、東横イン松阪泊
朝3時に起床し、次のダイヤで目的地の亀山駅に向かう。



南林間 5:01 → 藤沢 5:49 → 小田原 6:22

熱海 6:49 → 浜松 9:18

浜松 9:22 → 豊橋 9:57

豊橋 10:03 → 名古屋 10:58

名古屋 11:05 → 亀山 12:07

※雀友の杉山氏から8時40分TELあり。

<二日目：3月10日（日）>

紀勢本線（松阪＝津：19.1 km）踏破

津 14:21 → 亀山 14:40

関西本線（亀山＝河曲（かわの）：13 km）踏破、東横イン名古屋泊

<三日目：3月11日（月）>

関西本線（桑名＝蟹江：14.5 km）踏破

次のダイヤで帰宅。

名古屋 14：47 → 豊橋 15：37 （新快速：6両編成）

豊橋 15：41 → 浜松 16：15 （4両編成）

浜松 16：21 → 熱海 19：02 （5両編成）

熱海 19：10 → 藤沢 20：13

藤沢 20：24 → 南林間 20：53

<紀勢本線（亀山＝津）>

1日目：2013年3月9日（土）

紀勢本線のため割愛

第2節 2日目：3月10日（日）：亀山～河曲 小雨

二日目の2013年3月10日（日）は、松阪から津、そして電車で移動し、亀山から歩けるところまでとする。この日は親父の命日でもあった。早いものであれから7年経過する。3時頃目が覚め、ロビーでipodを充電する。再度、部屋に戻り仮眠する。朝食を済ませ、ホテルを7時35分チェックアウト。7時38分、松阪駅をデジカメに収める。紀勢本線の松坂から津まで歩き、津駅から、14時21分の電車で亀山駅まで移動する。急に寒くなり、待合室でセーターを着る。亀山駅には14時40分到着。

亀山(14:52)～井田川(16:08)～加佐登(17:36)～河曲(19:15)



吉野家（津駅）



亀山駅

一身田駅から下庄、そして亀山にかけ山間が続き、ウォーキングの難しさをひしひしと感じる。よくできたものである。



亀山駅 亀山市井尻町

小雨模様のため、リュックに雨カップをかぶせ、14時52分より歩きかける。近くの70歳位のご婦人と世間話をしながら県道28号線に出るまで歩く。道路に沿って鉄道は続いていた。15時24分、雨あがる。15時27分、桑名32km、四日市20kmの道路標識前を通過。その先の地名は亀山市井尻町であった。16時8分、井田川(いだ)駅に到着。



井田川駅



日本武尊像

駅前には東海道の宿場町の地図や日本武尊像の石像があった。16時25分、小田川橋通過。16時27分、326歩ある安楽大橋（安楽川）を渡る。16時46分、JR線を横切る。鉄道の右側となる。丘の上から四日市の街並みが見えて来る。国道1号線で名古屋57km、四日市14kmとあった。17時13分、鈴鹿市庄野町を通過。国道1号線から加佐登（かさど）駅が見えて来る。高宮踏切を横切った先に加佐登駅（17時36分）があった。



小田川橋



安楽川

加佐登駅

少し行き過ぎていた。ここでアップも考えたが、本日何とか30kmを越えたいと思い、3.4km先の河曲（かわの）駅を目指すこととする。しかし、線路に沿った道はなく困惑する。住人の方のアドバイスと地図を確認の上、鈴鹿川沿った道路を選択する。18時5分、上野交差点で国道1号線を横切る。



高宮踏切

鈴鹿川

18時12分、436歩ある定五郎橋（鈴鹿川）を渡る。辺りは暗し。鈴鹿川の土手沿いの道路を歩くことにする。鉄道に沿って道路が続いていると感じたからだ。右手には幹線道路があった。土手下には遊歩道があった。この土手を3.5km位歩く。そして、次の橋で再度橋を渡る。しかし、駅舎らしいものは見当たらず。引き返そうとする。自転車に乗った数人の中学生のグループと対面する。このグループに「河曲駅」の方向をお尋ねする。



鈴鹿川土手 河曲駅

親切にも、スマートフォンで検索していただく。その結果、300～400m位行き過ぎていたとのことであった。でも安堵する。ここからも数人の人にお尋ねし、やっと河曲駅には19時15分に着く。19時22分の電車で東横イン名古屋へ。ホテル(219号)には21時6分到着。ホテル近くのCoCo壺番屋（野菜カレー）で夕食とする。本日の営業キロは32.1km、万歩計は58,019歩だった。久しぶりに30kmのオーダーに乗り、充実した一日だった。

第3節 3日目：3月11日（月）：桑名～蟹江

桑名（8:13）～長島(10:00)～弥富(11:05)～永和(12:31)～蟹江'13:31)

三日目の2013年3月11日（月）、本日も4時頃目が覚める。早速、ロビーでipodを充電。森さんという方に“カッシー館”を紹介する。そして、6時頃ロビーに再度行き、第50回わいわい会の宿泊として、東横イン桜通口新館を予約（禁煙30室、喫煙5室）する。本日のコースは河曲駅からではなく、桑名駅とする。50回目翌日の散策のためのイベント下見のためである。大まかな流れは下記の通り決まる。

第50回わいわい会構想

○2013年7月20日（土）

14時半頃、熱田駅に集合し、熱田神宮参拝。

15時半より東海道本線つたい歩き：熱田～金山～尾頭橋～名古屋（5.2km）

17時半ホテル着。

19時より大宴会（かぶと）

○7月21日（日）

名古屋9時8分 → 長島9時36分

長島～長島城跡～伊勢大橋～桑名（4.2km）～蛤料理昼食

（打ち上げ：11時半～13時）

14時半頃名古屋駅で解散



東横イン

7時ロビーで朝食を済ませ、7時25分、チェックアウトする。7時43分発の電車（四日市駅行き）で、桑名まで移動する。桑名には8時13分到着。



名古屋駅

桑名駅



桑名駅

桑名の駅前を色々なアングルから撮影。朝早いため観光センターはまだ開いておらず。8時35分、修徳小学校前を通過。9時3分、伊勢大橋を渡る。この橋は揖斐川と長良川に掛けられていた。途中中洲があった。吊り橋のような感覚で相当の揺れがあった。揖斐川の川幅は、万歩計で849歩あった。操作ミスにより、長良川分は測定できず。恐らくこの川幅も850歩位はあろう。9時41分、桑名市立長島中部小学校前を通過。この近郊で愛媛県出身の福本さんという人と知り合う。長島駅まで案内（長島城跡）を頂きながら、長島駅まで世間話をする。桑名駅にハマグリを食べさせるハマグリプラザがあるとのことであった。なお、ハマグリは年中食べられるとのことであった。



揖斐・長良川



長島城跡



近鉄と JR 長島駅

10 時、長島駅に到着。手前に近鉄の長島駅があった。昨日に引き続き、JR 線に沿って一部の区間で近鉄が並走していた。10 時 27 分、名古屋 26 km、弥富 4 km の道路標識を見つける。温度計は 7℃ の表示であった。10 時 29 分、1446 歩ある尾張大橋（木曽川）を渡る。この橋を渡ると愛知県弥富市（10 時 44 分）となる。尾張大橋には 11 時 5 分到着。



尾張大橋

尾張大橋

11 時 16 分、○浦踏切を横切り鉄道の左側となる。11 時 32 分、弥富北中学校前を通過。11 時 52 分、遠くに富士山が見える。12 時 6 分、高速道路下を歩く。12 時 13 分、七川南交差点を通過。その先に愛西市立永和中学校前（12 時 18 分）があった。この前を通過するが、橋を渡った先の体育館前で袋小路（12 時 23 分）となる。リカバリーした先の地名が愛西市大井町であった。12 時 31 分、佐屋踏切を横切った先に永和駅（鉄道の右歩く）があった。



永和駅

12時50分、愛西市蟹江町に入る。12時51分、191歩ある日光川を渡る。12時56分、観音寺小橋歩道橋を渡る。13時15分、土手にぶつかる。13時31分、蟹江駅に到着。駅舎の案内板では、ここの住所は「愛知県海部郡蟹江町」とあった。



尾張温泉街

蟹江駅



ウェブ 名古屋駅

13時45分の電車で名古屋駅へ。名古屋には13時57分着。お土産を買い、うまいもん通りのウェブで味噌カツカレー（980円）の大盛りを注文する。これから、6から7時間エネルギーを消耗するためである。名古屋14時47分の電車で家路へ。自宅には、21時18分到着。本日の営業キロは14.5km、万歩計は36,106歩であった。充実した3日間であった。これで名古屋＝松阪間の歩きに目途がたつ。同時に三重県に足を踏み入れる。全国47都道府県のうち、新たに三重県が加わり27となる。

第4節 1日目：2013年3月30日（土）：河曲～桑名 晴れ

青春18きっぷの第2段目は、平成25年3月30日（土）～3月31日（日）、桑山から名古屋までの未踏破分を歩くことにする。今回は天候の状態を見極めず、2週間前に東横イン桜通口新館を予約する。前回5日位前に予約を入れたところ満室であったからだ。結果的には、天候もまずまず。そして、2日ともほぼ満開の状態で桜を鑑賞することができ、最高の旅であった。

河曲(12:00)～河原田(13:01)～南四日市(14:23)～四日市(15:37)～富田浜(16:56)～
富田(17:17)～朝日(18:32)～桑名(19:45)

早朝3時に起床し、前回と同じダイヤ（自宅は4時30分頃）で、名古屋そして河曲を目指す。前回から3週間が過ぎており、5時49分を乗る頃には辺りは薄明るくなっていた。昨夜からプロ野球が開幕となる。巨人が脇谷の活躍で広島に4対3で競り勝つ。前回のときはWBC戦で台湾に逆転した試合であった。井端が活躍した試合（同点打）であった。そして、中田の犠牲フライが決勝点となる。いずれも、早く寝ようとするが眠れず。しかし、2回とも3時にちゃんと起きることができた。歩きの神に感謝したい。



河曲駅

河曲駅には12時前に到着。駅前の風景をデジカメに収め、12時1分から歩き始める。自宅を出る時は肌寒さも少し感じたが、歩き始める頃には温暖な天候となる。それ故、川原田駅でセーターを脱ぐこととなる。前回、暗中模索で渡った木田橋北詰には12時11分到着。下には水流が弱弱しい鈴鹿川があった。この橋は私の万歩計で380歩あった。鈴鹿川の土手を歩く。12時18分、河口より8kmの地点を通過。鹿が表示坂に描かれていた。土手にはつくしの群れがあった。そして、いたるところで桜が満開の状態であった。12時41分、391歩ある青い橋である高岡橋（歩道専用）を渡る。その先で鉄道に沿って満開を迎えた桜と対面する。最高の気分となる。12時58分、神戸踏切を横切り鉄道の左側となる。その先に河原田駅（13時1分）があった。



鈴鹿川 満開に近い桜



河原田駅

10m位上がったところに伊勢鉄道伊勢線があった。この駅が終着駅であった。近くの市民掲示板には「桜まつり」の情報があつた。13時18分、土手にぶつかり土手に沿って歩く。13時21分、県道631号線に続く149歩ある河原田橋（内部川：歩行者専用橋）を渡る。13時37分、三菱化学北大治田門四日市事業所エクノール製造部前を通過。暫く路地（13時41分）を歩く。香川県と同じような町並み（入母屋造りの家）が続く。13時49分、イーテック（J S Rグループ）前を通過。日本かカラリングや日建学院があつた。その近郊の地帯はイオンタウンであつた。沢山の店がこの中に集まっていた。14時、中華料理“味神館”で遅い昼食を摂る。14時23分、南四日市駅に到着。



伊勢鉄道

桜まつり



南四日市駅

14時32分、日永踏切を横切る。味の素（東海事業所）が線路に沿ってあり、少し迂回を要求される。この近郊、JR貨物や近鉄が絡み、持参の地図上の現在位置の確認ができず。それ故、何人もの人に道を聞きながら四日市駅を目指すこととなる。14時52分、近鉄・JR貨物の六呂見踏切を渡る。15時、道路の向こう側には三菱化学があった。



味の素

三菱化学

15時12分、99歩であった大井の川橋を渡る。15時18分、富田8kmの道路標識を見つける。15時25分、JR貨物とJR線の第2下街道踏切を横切る。15時32分、四日市保線区事務所があった。15時37分、やっとのことで四日市駅に到着。



富田道路標識



四日市駅



四日市駅



駅前

駅舎は 2 階建ての学校のような建物であった。駅前広場は広々としていたが、駅前是非常に寂しい街並みであった。私の予想から大きくかけ離れる。三重県で一番賑やかな駅と思ったからだ。津や松阪の方が数段賑やかであった。明治安田生命の看板が駅前からひっそり見えた。15 時 47 分、北浜踏切を横切り、国道 23 号線につながる蔵町交差点に出る。交差点先には吉野家があった。16 時、197 歩ある大正橋（三瀧川：みたき）を渡る。そして 16 時 17 分、181 歩ある三重橋（海屋川）を渡る。この近郊の風景は東海道本線の吉原界隈の風景と似ていた。工場地帯故、空気は非常に悪し。16 時 21 分、名古屋 41 km、桑名 13 km の看板を見つける。その先の看板には、霞が浦緑地、四日市競輪場、四日市ドームへの看板があった。16 時 47 分、四日市市広報板には小学生による「火事」が描かれていた。16 時 56 分、富田浜駅に到着。



三重橋



桑名 12 km

富田浜駅

国道 1 号線を歩く。17 時 8 分、四日市市富田 2 丁目の道路標識前を通過。17 時 17 分、富田駅に到着。



三岐鉄道

富田駅



八幡踏切

三岐鉄道の電車 (大矢知駅)

この駅には近鉄や三岐（さんぎ）鉄道の駅舎もあった。この駅は鉄道が複雑に絡みあっていた。電車の窓からうまく歩けるかなと思っていたら、予想通り迷路に入る。17 時 24 分、八幡（はちまん）踏切を横切る。この地点の複雑な鉄道交差は西武鉄道の所沢駅のような感じであった。誤って三岐鉄道に沿って歩こうとしていた。大矢知駅の近郊で気づく。変だと思い聞いたのが正解であった。それ程大きくミスしていなかったからだ。17 時 47 分、三岐鉄道の踏切で黄色い電車の通過を待つ。ここから、醍醐味の歩きが続く。新しい道路ができ、また朝明川が絡み、思うような方向に進めず。18 時 2 分、朝明川橋（測量ミスで歩数不明）を渡る。数人の人に聞きながら、やっと朝日駅には 18 時 32 分到着。



朝明川橋



朝日駅



縄生踏切

すでに辺りは暗くなっていたが、これから 4.7 km先の桑名駅を目指すことにする。暫くは鉄道の左側をつたい歩きする。T字路にぶつかり踏切を渡るか否か迷う。偶然にも近くの住人からのアドバイスを頂戴し迷路から逃れることができる。18時52分、縄生踏切(なお)を横切り、国道1号線に出るコースを聞いたからだ。踏切を渡らず直進していたら。町屋川を渡りために相当の迂回が要求されたであろう。19時6分。国道1号線に入る。その先に363歩の町屋橋(町屋川)を渡る。橋の手前には歴史上の解説があった。桑名まで国道1号線を歩く。桑名駅には19時45分に到着。19時55分の電車で名古屋駅に。東横イン桜通口(414号室)には20時58分に到着。ホテル近郊のCOCO壺番屋で遅い食事を摂る。本日の営業キロは23.7 km、万歩計は56,158歩だった。本日は富田、朝日そして桑名までの醍醐味ある歩きのほか、ほぼ満開の桜前線の中でウォーキングができ充実した一日であった。本日の巨人=広島戦は1対1の引き分けとのことであった。新人菅野が好投したと新聞にはあった。



町屋橋



桑名駅

第5節 二日目：3月31日（日）：蟹江～名古屋 晴れ

蟹江（8:29）～春田(9:22)～八田(10:43)～名古屋(12:13)

4時頃目が覚め、その次いでにロビーに ipod を充電に出向く。土曜日に友人の結婚式に駆けつけたという3人組（横浜ひとり、千葉ひとり）がいた。そのうち1名は東横インに宿泊予約済み、残りの2名は予約してないとのことであった。3人とも首都圏から来たとのことであった。予約なしで取れると思ったのであろう。この3人にカッシー館をPRさせてもらう。本日ホテル予約の千葉出身というスマップの草刈の感じの若者が熱心に聞いて頂く。20分位、お付き合い頂く。ありがたい限りである。4時半頃部屋に戻り再度仮眠する。



東横イン



第50回わいわい会宴会場調査

7時朝食を済ませ、7時40分頃チェックアウトする。ホテル近郊から名古屋駅までの風景を種々の角度からデジカメ収める。駅前には桜が多々あり、満開を迎えていた。下層部分が高島屋、上層部がホテルとオフィスビルからなる名古屋駅をじっくり観察する。本日は朝、蟹江への電車を調べず臨む。名古屋駅には7時50分頃到着。次の亀山行は8時16分であった。それ故、名古屋駅で20数分位の待ち時間となる。蟹江駅には8時29分到着。窓から沿線の風景を眺めながら、蟹江まで向かう。八田と春田の間に2つの川があった。検討の結果、鉄道の左側を歩こうと考える。



名古屋駅



蟹江駅

蟹江駐輪場

蟹江駅から暫く鉄道の右側に沿って歩く。途中、カニのデザインの駐輪場があった。8時41分、東効線踏切を横切り鉄道の左側を歩く。校庭の桜が満開の明正小学校前を8時52分通過。春田まで途中、川があり、迂回は2度対面するはめとなる。それ故、ロスが多くなる。9時13分、94歩ある春幡橋（戸田川）を渡る。春田駅には9時22分到着。



東効線踏切

中央公園

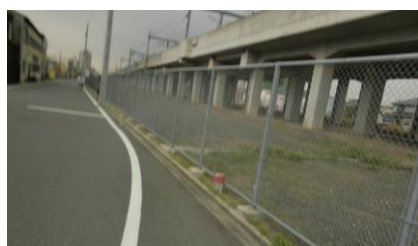


春田駅

腹痛でトイレに駆け込む。ナップサックに雨具をつけるが、暫く歩き雨が止んだため外す。9時46分、春田一丁目交差点を通過。9時56分、163歩ある長須賀橋（新川）を渡る。そして、10時6分、窓から見た二つ目の横井大橋（369歩）を渡る。この川には小舟が浮かんでいた。その先に岩塚宿散策コースの案内坂（中村区役所：451-1241）があった。10時18分、なのはな畑と対面。八田駅手前で近鉄と並走となる。鉄道の線路は高架となっていた。高架した鉄道下に沿って八田駅を目指す。八田駅には10時43分到着。



長須賀橋 横井大橋



八田駅

この駅手前で雨が急に強くなる。リュックに再度雨具カバーをかけ、名古屋駅を目指す。途中、近鉄八田駅で雨宿りし、食事の20名位のグループと出会う。このグループ（浜松旅と文化研究会：代表は林俊之氏）は浜松在住の人たちで青春18きっぷを活用し、本日ここに来たとのことであった。カッシー館をPRさせていただく。そして明日への元気を頂く。林氏から名古屋への道筋を教示頂く。11時40分、227歩ある向野橋（鉄道車庫）を渡る。名古屋駅ビルが遠くに見える。11時51分、近鉄米野（こめの）駅を通過。名古屋駅新幹線口経由、JR下通路を通り抜け、名古屋駅桜通口には12時13分到着。



向野橋



近鉄米野駅



名古屋駅



2 時間位の余裕ができたので、名古屋城の桜見物に向かう。東山線で栄まで行き、そこで名城線の右回り市役所駅まで向かう。ユニークな市役所駅から少し歩いた先に名古屋城（入場料 500 円）があった。12 時 45 分到着。ここで 1 時間位、満開の桜を観賞。沢山の人が訪れていた。



名古屋城





13時15分、名古屋城の中にある店で名物きしめん（金しゃちセット：900円）をいただく。食券番号は463であった。先客が30人位いた。20分位待たされる。名古屋城を13時40分頃後にする。名古屋駅には14時頃到着。改札口前で家内にお土産（ういろ）を買い、名古屋発14時17分の新快速で自宅に向かう。途中、豊橋発15時23分、浜松発16時10分、熱海発18時59分の電車に乗り継ぐ。自宅には21時到着。本日の営業キロは9.3km、万歩計は26,379歩だった。これで名古屋＝松阪間94.5kmがつながる。天候には少し恵まれないところもあったが、第50回わいわい会の下見に加え、桜鑑賞そして当初の予定通り歩きもでき、充実した5日間であった。これで紀勢本線や関西本線等の踏破の足掛かりができ、満足する5日間であった。





市役所駅



名古屋市役所 名古屋駅